土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　福山沼隈線道路改良工事に伴う業務委託（8工区）

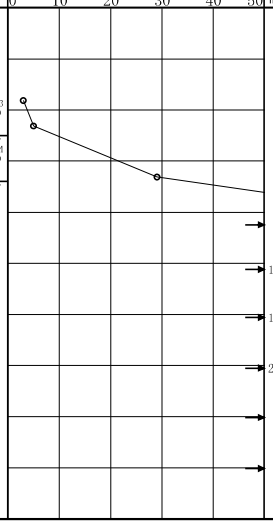
事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　道路 橋梁・高架

ボーリング名	B-1-1	**調査位置**	広島県福山市草戸町半坂地内			**北緯**	34° 28′ 13.3269″
発注機関	広島県東部建設事務所 福山幹線道路建設事業課			**調査期間**	2019年 10月 23日 ～ 2019年 10月 24日	**東経**	133° 21′ 9.6284″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 11.33m	**角度**	180° 上下 90° 0° 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 10°
総削孔長	9.00m					**使用機種**	**試錐機** 東邦DO-D
							エンジン ヤンマーTF-100M　**ポンプ** 東邦BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
1	10.13	1.20		礫混じり砂		褐			新生代第四紀	(盛土) 表層0.05m以浅はアスファルト。φ5～40mmの礫が点在する未固結な中砂～粗砂を主体とする。 含水は小。マサ土を不均質に混入。	
2	8.53	2.80		礫混じりシルト質砂		褐	rd1			φ5～10mmの亜角～亜円礫を10%程度混入する未固結なシルト質粗砂～細砂を主体とする。 含水は中位～大。下位起源のマサを混入。	10/23 2.50
3	7.83	3.50		強風化花崗岩		褐			中生代白亜紀	花崗岩の強風化土（砂質土）。 岩石組織不明瞭で，指で崩せるほど軟らかいマサ状コアを主体とする。 芯まで褐色化。DL級。	10/24 3.40
4	7.33	4.00		強風化花崗岩		褐灰				花崗岩の強風化部。岩石組織明瞭で指で崩せる。固結マサ状コア主体。 芯まで褐色化する。DW級。	
5				風化花崗岩		褐灰				花崗岩の風化部。 岩石組織明瞭で，概ね指で何とか砕けるが，一部の亀裂沿いでは指で容易に崩せる。 下方ほど硬くなる。固結マサ～片状コアを主体とする。 コア肌は粗く，概ね岩芯まで褐色となる。暗色包有物を局所的に含む。 DH級岩盤。	
6											
7											
8	3.13	8.20									
9	2.33	9.00		風化花崗岩		褐灰～灰				花崗岩の風化部。 岩石組織明瞭。ハンマー軽打でにぶい金属音する短柱～片状コアを主体。 褐色化は亀裂沿いのみでコア肌はややなめらか。CL級岩盤。	

標準貫入試験



深度 (m)	N値	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
1.65							
2.95	3	1 / 150	2 / 150		3 / 300		
2.45	5	1	2	2	5 / 300		
3.15	29	6	10	13	29 / 300		
3.45							
4.15	94	20	30 / 60		50 / 160	160	
4.31							
5.05	136	42	8 / 10		50 / 110	110	
5.16							
6.00	167	50 / 90			50 / 90	90	
6.09							
7.00	214	50 / 70			50 / 70	70	
7.07							
8.00		貫入不能			50 / 0		
8.00							
9.00		貫入不能			50 / 0		
9.00							

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
1.65	1P-1	⊖	物理		
2.95	1P-2	⊖	物理		
2.45					
					10/23
					10/24